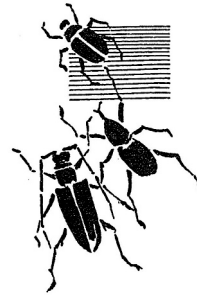


農業

平成25年7月号
会誌 No. 1574



目次

巻頭言

健康を担うアマゾンの植物たち①……………豊原 秀和 3

論壇

農業経営の規模……………生源寺 眞一 4

農業懇話会

北海道における水稻品種改良－「ゆめぴりか」へ至る道のり－

講演

北海道における水稻育種……………佐藤 毅 6

北海道産米の販売戦略……………南 章也 14

質疑応答…………… 22

農業技術開発研究会

農業技術開発機関のミッションと研究評価・人材育成（I）…堀 江 武 25

農研機構とそのミッション

人類社会の持続的発展を支えてきた農業イノベーションと科学技術

ミッション達成に向けた取組

第2の緑の革命をめざす新世代水田農業技術の確立

高付加価値化・差異化による農業収益力の強化

ミッション達成のためのマトリックス型研究組織
研究評価とその功罪
人材育成－イノベーションの源泉－
アグロノミスト：最も不足する課題解決型研究者

表彰農家訪問

先駆的技術と雇用労力で大規模キュウリ作経営を展開…………村上 治正 42
－群馬県前橋市に堀越恒弘さんを訪ねて－

農業・農村の現場から

(株) 緑生園の園芸福祉活動の取り組み…………前川 良文 51

世界の農業は今

カナダの農業と農業政策…………吉井 邦恒 57

統計情報

集落営農活動実態調査の結果………… 62

農政情報

………… 63

大日本農会だより………… 64

編集部から………… 64

表紙写真説明

農水路たどって来たら七夕飾り (岡山県倉敷市酒津^{さかづ})

倉敷市に流れる高梁川(たかはしがわ)は、洪水が多発する地域であった。明治44年から内務省による改修工事が行われ、酒津の地域に堰が設けられ、酒津配水池がつくられ、主に農業用水路として岡山平野南部に配水した。平成15年には、「東西用水酒津樋門^{ひもん}」が、現在も活用されている国内最大級の樋門として土木学会選奨の「土木遺産」に、また、平成18年には「東西用水」が「全国疎水百選」の一つに認定されている。

農業用水路としては、6水路があり、受益地は倉敷市と早島町^{はやしまちよう}にまたがる3,274haとなり、主に水稻が2,072ha、レンコンが80.7ha 作付されている。

配水池周辺は、昭和26年に高梁川改修工事により生じた土地に酒津公園として整備され、四季折々に市民に楽しめるように「水と桜」をテーマとした公園である。

7月になると水路に沿って七夕飾りが設けられ、水路は、子どもたちの格好の水遊び場としても公開されている。

(写真提供：一般社団法人地域環境資源センター)